

平成28年度 富山県民生涯学習カレッジ砺波地区センター運営会議 議事概要

1 日 時 平成29年2月9日（金）13:30～15:00

2 場 所 富山県民生涯学習カレッジ砺波地区センター 第1学習室

3 出席者 運営委員

池田 真一（株式会社ロンウッド 代表取締役社長）
大家 芳夫（介護老人保健施設 ゆうゆうハウス 事務長）
大谷 朝子（元小矢部市立蟹谷小学校長）
川原 久俊（津沢地区自治振興会長）
桐山 巧（雷鳥会砺波支部長）
田悟 敏子（富山県「食の匠」）
飛田 久子（となみ野高等学校 評議員）
仲井 文之（富山国際大学 教授）
中川美也子（小矢部市ボランティア連絡協議会長）
埜村 沢子（公募委員 砺波市出町公民館 指導員）

事務局

県民カレッジ本部 山崎 弘一 学長

県民カレッジ砺波地区センター

中山所長、中葉副所長、橋本となみ野高校事務長、寺井社会教育主事

4 会議次第等

(1) 開会の挨拶

県民カレッジ砺波地区センター 中山所長

(2) 参加者自己紹介

(3) 報告

① 県民カレッジ砺波地区センター事業概要について

砺波地区センター関係の講座やその様子、生涯学習団体の関係の地区交流会、雷鳥会砺波支部の活動等、となみキャンパスフェスティバルでの受講者の活動についてプレゼンテーションソフトを使って説明。

② 平成28年度事業報告

○配布資料をもとに説明

○事務局コメント

- ・砺波地区センターでは、ふるさと発見講座（人間探究コース、教養・実践コース）は、砺波地域にこだわって講座の企画やテーマ設定を行っている。
- ・人間探究コースでは、前期は「大自然」、後期は「発酵産業」をテーマに講座企画を進め、実施したところ、大変好評であった。

- ・共学講座では、社会人受講生と高校生がお互いに刺激を受けて、学習に取り組むことができた。

③ 平成29年度事業案について

- ・人間探究コースは「となみ野の建築の歴史と、技と心の伝承」をテーマに砺波地域の伝統家屋、文化財、伝統的な建築技術などに焦点をあて講義していただく予定である。
- ・教養・実践コースでは、「健康」「食文化」に関する講座は例年通り実施予定だが、「弓道教室」が共学講座へ移行した。また、新規に砺波地域の「史跡」に焦点を当てた講座や、現地研修を主とする「町歩き」講座、体験実習を主とする「クラフト体験」の講座を企画した。
- ・教養講座は、分野が偏らないよう講師、講座内容を選定し、企画した。

(4) 協議「生涯学習の活性化と地域」（意見、感想等）

- ・ふるさと発見講座の人間探究コースでは、砺波地方にこだわったテーマで取り組まれ大変良いこれからも続けてほしい。また、同講座の教養・実践コースでは、健康アラカルトは、ウォーキング、歌・食などバラエティーに富んだ講座内容で、健康を考える上で良かった。さらに、同コースで地元の祭りを扱い、地元の研究家の研究成果を紹介しながら「祭り」を通して「地域」とのつながりを感じる講座が大変よかった。今後も地域と関わるような講座を計画してほしい。
- ・県民カレッジ各地区センターとも講座運営のためのボランティアを募集し、活動して貰っているが、もっと活動内容を紹介するなど、講座運営を支えて貰っていることを受講生が感じられるように工夫して欲しい。
- ・富山県や砺波地域にゆかりのある、大きな業績を上げているのに知られていない人々をもっと紹介して欲しい。また、そのような人材・歴史・郷土が学習できる講座を企画して欲しい。
- ・内容が非常に充実している共学講座（授業）なのに、生徒の授業選択者が少なく、残念である。また、共学講座での社会人と高校生の人数バランスが悪い講座もあるようだ。
- ・小矢部市の婦人会のお世話をしているが、「女性の教養を高める」をキーワードに活動しており、様々な集まりの中でミニ講座やミニ研修会を企画している。私自身が県民カレッジで受講したり、活動したりすることが、婦人会の講座や研修会の企画・運営に大変参考となっていると感じており、県民カレッジの講座が地域に還元されている一例だと思っている。
- ・地域の高齢者の生活を支援するような（認知症・介護・特殊詐欺など）内容の講座があっても良いのではないか。また、地域包括支援センターなどと連携した講座開設などを進めてはどうか。

(5) 閉会の挨拶

県民カレッジ本部

山崎 学長